

[成果情報名] カーネーション2年切り栽培において整枝が有効な品種

[要約] 2年切り栽培の切り戻し時に行う整枝については、「ホットピンクテッシノ」「オータム」「キャンドル」のように冬季に生育が遅くなる品種については、整枝することで単価の安定した3月に収量を増やすことが出来ることから、このような品種への整枝法の導入は経営的に有効である。しかし、「バレンタイン」のような冬季に収量が安定している品種は整枝する必要はない。

[キーワード] カーネーション、2年切り、整枝

[担当] 長崎県総合農林試験場 野菜花き部 花き科

[連絡先] 電話 0957-26-3330、電子メール hazeyama@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 花き

[分類] 指導

[背景・ねらい]

カーネーションは本県花き生産における主要品目の1つである。現在1年1作の作型が定着しており、毎年高い苗の購入が農家の経営を圧迫、また、近年切り花などの輸入の増加に伴う国際競争も激化している。

これらに対応するため、低コスト・省力生産技術の確立につながる2年切り栽培による種苗費の低減などの技術を確立し、カーネーション産地を強化する必要がある。ここで主要4品種を用い、カーネーションの低コスト・省力生産技術の確立を目標に2年切り栽培における整枝が必要な品種について検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 2年目の採花本数は整枝・無整枝に関わらず1㎡当たり120本を超える(表1)。
2. 「ホットピンクテッシノ」「オータム」のように豊産性であっても、パイプハウスにおいて1番花収穫後冬季2番花の立ち上がりが遅い品種については、整枝することにより2番の採花を早めることができ、収量を確保できる(図1)。
3. 「キャンドル」のように萌芽力が弱い品種は、整枝することで冬季の収量減を回避し、3月から収量を確保できる。
4. 「バレンタイン」のように根張りが良く萌芽力が強い品種は、無整枝でも良い(図1)。

[成果の活用面・留意点]

表1 1 m²当たりの採花本数

本/m ²		本/m ²	
ホットピンクテッシノ 1年目		2年目	
		7.5株/m ² 整枝	136.3
7.5株/m ²	126.2	7.5株/m ² 無整枝	124.5
15株/m ² (cont.)	143.5	15株/m ² 無整枝	158.7
オータム			
		7.5株/m ² 整枝	168.8
7.5株/m ²	140.6	7.5株/m ² 無整枝	153.8
15株/m ² (cont.)	159.6	15株/m ² 無整枝	145.7
キャンドル 1年目		2年目	
		7.5株/m ² 整枝	143.3
7.5株/m ²	81.9	7.5株/m ² 無整枝	139.4
15株/m ² (cont.)	120.0	15株/m ² 無整枝	161.5
バレンタイン			
		7.5株/m ² 整枝	131.3
7.5株/m ²	106.2	7.5株/m ² 無整枝	153.1
15株/m ² (cont.)	131.7	15株/m ² 無整枝	141.9

ハウスはパイプハウスを使用し、肩天井も開けて管理した。2001年6月27日に定植、調査は1年目2001年10月に開始し2002年5月10日に終了、2002年6月10日に20cmの高さで切り戻し整枝区についてのみ枝を4本に整枝した。その後8月30日に萌芽を8本に整理し、2本ハーフピンチを行った。2年目の調査は2002年9月に開始し、2003年5月9日に終了した。

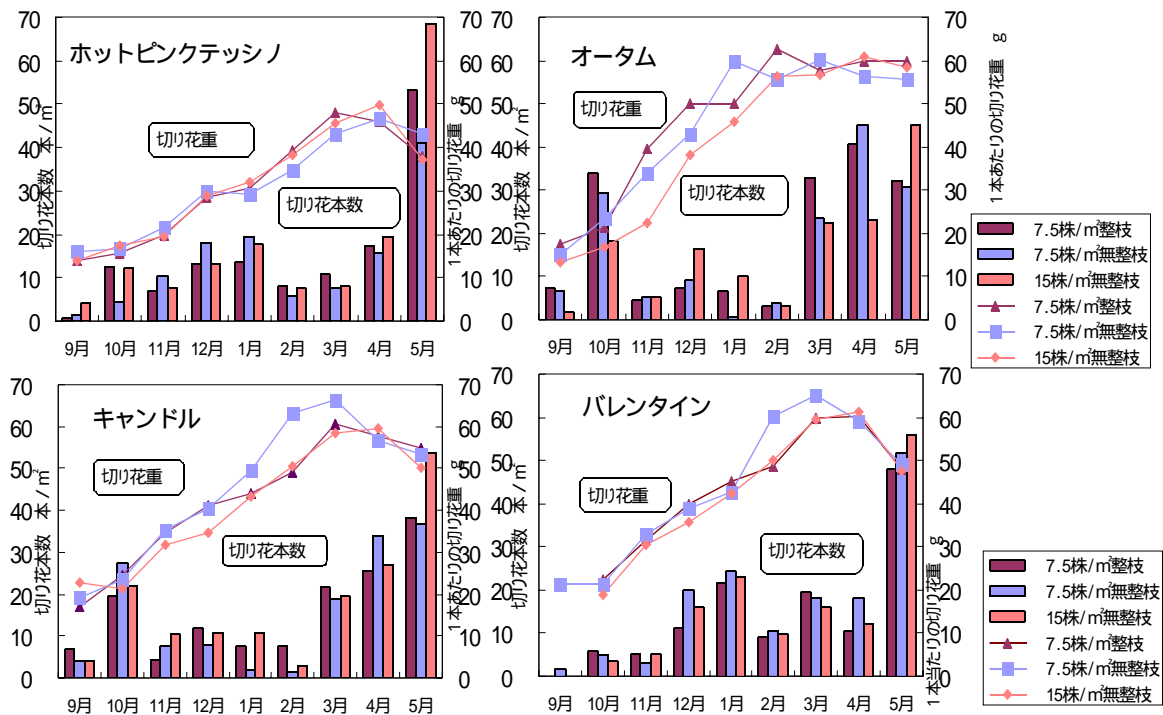


図1 2年目月別栽花本数と切り花重

課題名：カーネーションの低コスト・省力栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2000年～2004年

研究担当者：樫山妙子、井上優子、松尾崇宏、北村信弘